

拝啓 めっきり寒くなりましたがお変わりありませんでした。この度水野先生に支援していただいたから十カ月が過ぎました。卒業という事で感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。小三の三月 全身に出たアトピーで日常生活もままならない状態の時 痛めとかゆみにたえられず 学校を休むようになりました。最初は今までがんばって行ってたのだからしばらく休んでも仕方ないかと思っっていました。が春休みが明け新学期が始まっても学校には行くとうとしました。それから無理やりつれていったりして五月雨登校になり 保健室登校になり。小四の十二月に頭痛などをうったえるようになって不登校になりました。どう対応していかかわからず図書館で不登校に関する本を何冊も読みました。そこで出会った本をきっかけに水野先生の事を

知り支援していただく事になりました。

うちの場合、きっかけはアトピーの状態が悪かった事でしたが、それは単なるきっかけでそれまでの私の対応に問題があった事に気づかせて下さり本当に感謝しています。何をやるにも

私に「くっしていい？」と聞いてくる事にそれまではわからず、ごく

不思議に思っていました。先読対応やメモティだらけの会話、

失敗してはかわいそうだと思ひ失敗しないようにといつも心配

していました。それが子供のためと思っていたのです。会話ノートや

電話カウンセリングで指導していただいて私がおすべき事、

足りない事がわかりました。実際に学んだ事をしようとして

してもなかなかうまくできず毎日反省の日々でしたが、少し

ずつですが出来るようになるものですね。アクティブリスニングで

答えられるようになってきたり、イメージメッセージが使えるようになったり、そんな自分の変化につづいて子供にも変化がみえた時は、親の対応の重要さがよくわかりました。

コーチングでは父親の立場をつくっていたとき、子供への対応も教えていただいたおかげで主人の一言に重みが増し、私はすこく楽になりました。

たくさんの人達に助けていただき、小四の三月に復学する事が出来ました。子供にとっても家族にとっても不登校はつらい経験でしたが、この経験で得た事はこれから先とても大きく大切な宝になることでしょう。

水野先生、佐藤先生、スタッフの皆さんお世話になりました。ありがとうございました。さらなるご活躍をお祈り致します。

敬具

平成二十二年十二月五日